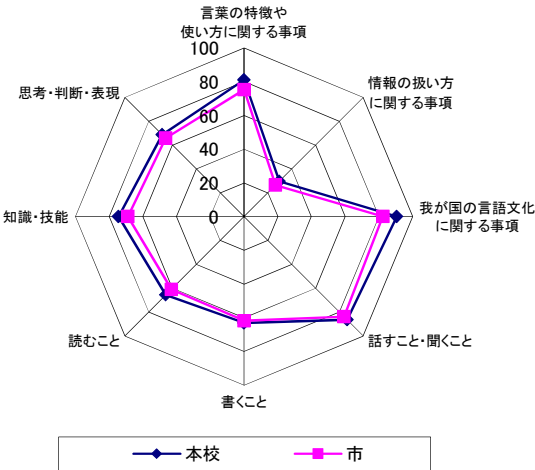


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方にに関する事項	81.1	75.3	77.1
	情報の扱い方にに関する事項	29.7	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	90.6	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	86.5	83.9	84.2
	書くこと	63.0	61.7	64.5
	読むこと	65.6	60.9	61.0
観点別	知識・技能	74.4	68.8	70.3
	思考・判断・表現	68.8	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方にに関する事項	○本領域の平均正答率は81.1%で、市の正答率を5.8ポイント上回った。 ○「第5、6学年に配当されている漢字を正しく読んでいる、書いている」の平均正答率は、全ての市の正答率を上回り、100%のものもあった。 ●「敬語について理解し、正しく使っている」の平均正答率は、市の正答率を1.1ポイント上回っているが、53.1%だった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・ドリル学習や漢字小テストなどの成果が表れていると思われる。今後も文や文章の中で正しく漢字を使うことができるように指導していく。 ・宿題等で敬語を復習するとともに、日常の場面においても、正しく敬語が使えるようにくり返し指導していく。
情報の扱い方 に関する事項	○本領域の平均正答率は29.7%で、市の正答率を3.2ポイント上回った。 ●「情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している」の平均正答率は、市の正答率を3.6ポイント上回っているが、20.8%だった。	・国語だけでなく、社会や総合的な学習の時間など、教科横断的に資料から読み取ったことを文章にまとめる学習に取り組み、情報を簡潔に整理したり活用したりする力を身に付けさせていく。
我が国の言語文化 に関する事項	○本領域の平均正答率は90.6%で、市の正答率を8.2ポイント上回った。 ○「語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している」の平均正答率は90.6%で、市の平均正答率を8.2ポイント上回った。	・引き続き、日本語への関心や、諸外国との関わりについて興味をもたせ、和語、漢語、外来語の特徴を捉えたり、使い分けたりする力を身に付けさせていく。
話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は86.5%で、市の正答率を2.6ポイント上回った。 ●「意図に応じて、質問を工夫している」の平均正答率は88.5%だが、市の平均正答率を0.5ポイント下回った。	・話し合い活動では、話し手の意図を汲み取り、自分が聞きたいことの中心を捉えられる質問ができるよう指導していく。
書くこと	○本領域の平均正答率は63.0%で、市の正答率を1.3ポイント上回った。 ●「自分の意見とその理由を明確にして書いている」の平均正答率は81.3%で、市の平均正答率を3.0ポイント下回った。 ●「情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている」の平均正答率は、市の正答率を2.7ポイント上回っているが、38.5%だった。	・今回は注意事項に従い、最後の問題に10分使えるよう声掛けを行ったが、無回答が11.5%と非常に高かった。時間が足りなかったことも考えられるが、書くことに対して苦手意識をもっている児童が多くいると考えられる。 ・日常生活において文章を書く経験を積みせるとともに、文章構成を考えさせたり、条件を設定したりして、限られた時間内で必要な分量の文章を書けるように指導していく。
読むこと	○本領域の平均正答率は65.6%で、市の正答率を4.7ポイント上回っている。 ○「登場人物の様子について、描写を基に捉えている」の平均正答率は76.0%で、市の平均正答率を12.5ポイント上回った。 ●「文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている」の平均正答率は80.2%で、市の平均正答率を0.6ポイント下回った。	・物語文では、引き続き描写を基に人物の様子や心情を捉えるようにするとともに、感想を交流する活動を多く取り入れ、自分の考えが広げられるようになっていく。 ・説明文では、文章全体の構成を捉え、筆者の主張や意見を正確に読み取ったり、読み取ったことを図で表すなど整理してまとめたりする活動を取り入れていく。